

「美の日利き」「美の求道者」と呼ばれた随筆家・白洲正子(1910-1998)。骨董、古典文学、能への造詣が深く、西国への巡礼の旅によって魅せられた日本の文化や歴史を独自の視点によって捉え直し『かくれ里』や『近江山河抄』などの作品に昇華しました。そして、古から人々が生活の中に芸術を取り入れてきたように、自身の審美眼に合った品々を暮らしに取り入れ、慈しみ、楽しみました。

本展ではそのライフスタイルに注目し、愛用の骨董をはじめ、着物やアクセサリ、文具など、正子の暮らしを彩った選りすぐりのものや自筆原稿を、暮らし・おしゃれ・たしなみ・ライフワークといったテーマに分けてご紹介します。また併せて、夫・次郎の足跡を振り返るとともに正子からみた次郎の素顔にも迫ります。

文化は「一人一人のその日その日の生活の中にある」と述べ、好きなことを貫き、楽しい時間を探し求めた正子の暮らしぶりを、ぜひご覧ください。



着物「梅二月」 織地：柳悦博 染：古澤万千子



正子と次郎 武相荘にて



原稿「かくれ里 十五<湖北 菅浦>」1970年



瀬戸麦藁手火消し壺 古代ガラスのアクセサリ
江戸時代中期 正子が初めて買った骨董

※資料はすべて武相荘蔵

関連イベント

※イベントの参加には展覧会のチケットまたはチケット半券のご提示が必要です。参加費無料
※対談・講演会とも、会場：町田市民文学館2階大会議室／定員：80名

対談

「正子と次郎 —武相荘での暮らし—」

講師：牧山圭男(旧白洲邸武相荘館長)、青柳恵介(古美術評論家)
日時：10月19日(土) 14:00～15:30
【申込】9月18日(水)正午から電話で町田市イベントダイヤル(042-724-5656)または町田市HP「イベシス」からイベントコード190918E(申込順)

「正子とお能」

講師：友枝雄人(能楽師)、青柳恵介
日時：11月2日(土) 14:00～15:30
【申込】10月4日(金)正午から電話で町田市イベントダイヤル(042-724-5656)または町田市HP「イベシス」からイベントコード191004A(申込順)

「わたしが見た白洲正子」

講師：阿川佐和子(作家)、青柳恵介
日時：12月7日(土) 14:00～15:30
【申込】往復はがき(1人1枚)に①講座名②氏名とふりがな③住所④電話番号⑤年代を明記し11月15日(金)必着で町田市民文学館までお送りください。後日、文学館から抽選結果を返信します。(切手料金や記載面にご注意ください)

講演会

「正子好みの骨董」

講師：青柳恵介
日時：11月16日(土) 14:00～15:30
【申込】10月4日(金)正午から電話で町田市イベントダイヤル(042-724-5656)または町田市HP「イベシス」からイベントコード191004B(申込順)

朗読会

「朗読で旅する『西国巡礼』」

朗読：阿南京子(FMさがみパーソナリティー)
日時：11月10日(日) 14:00～15:00
定員：60名(先着順)
申込不要。直接2階大会議室にお越しください。

文学散歩

「『東京の坂道』を歩く」

案内：当館職員
日時：11月30日(土) 13:00～16:00
集合・解散：地下鉄有楽町線・永田町駅
定員：20名(申込順)
【申込】11月1日(金)正午から電話で町田市民文学館(042-739-3420)へ。

展示解説

日時：11月9日(土)、19日(火)、12月10日(火)、22日(日)
いずれも14:00～(40分程度)
申込不要。直接2階展示室にお越しください。

◆その他、町田市観光コンベンション協会とのコラボイベントもあります。(詳細は当館HPに掲載)

白洲正子の ライフスタイルの 暮らしの遊び展

Masako Shiroko



町田市民文学館 ことばらんど

〒194-0013 東京都町田市原町田4-16-17 TEL 042-739-3420 FAX 042-739-3421
・JR横浜線「町田駅」ターミナル口から徒歩8分 ・小田急線「町田駅」東口から徒歩12分

